

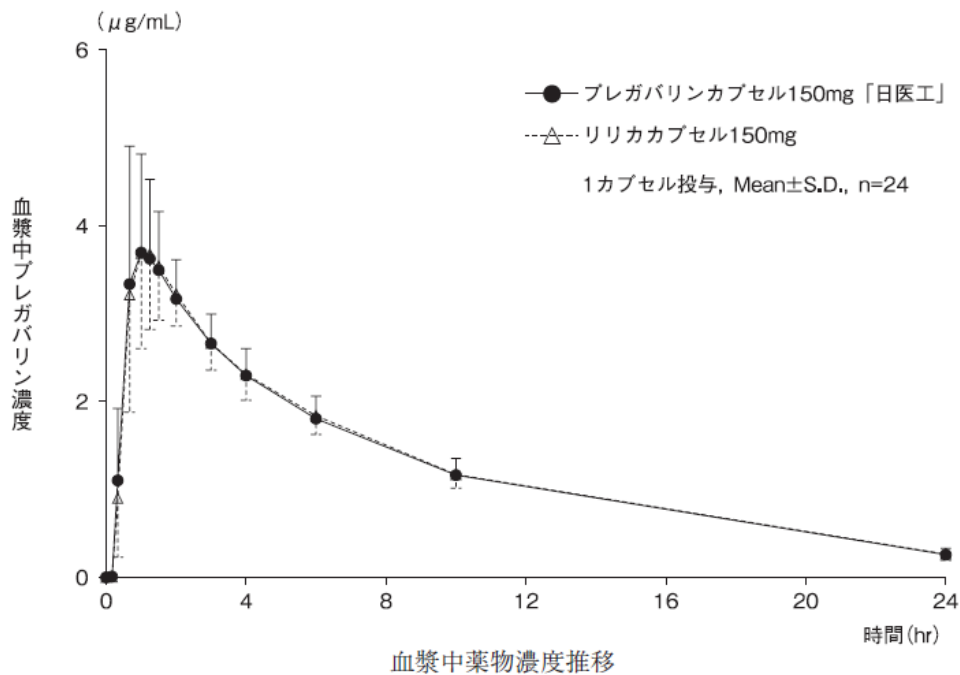
生物学的同等性試験

プレガバリンカプセル 150mg 「日医工」

プレガバリンカプセル 150mg 「日医工」 及びリリカカプセル 150mg を、クロスオーバー法によりそれぞれ 1 カプセル（プレガバリンとして 150mg）健康成人男性に絶食単回経口投与して血漿中プレガバリン濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC, Cmax）について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

	薬物動態パラメータ			
	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC ₀₋₂₄ ($\mu\text{g} \cdot \text{hr}/\text{mL}$)	Cmax ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	Tmax (hr)	t _{1/2} (hr)
プレガバリンカプセル 150mg 「日医工」	30.837 ± 4.050	4.345 ± 0.929	1.20 ± 0.43	6.39 ± 0.72
リリカカプセル150mg	31.015 ± 3.507	4.190 ± 0.778	1.20 ± 0.42	6.40 ± 0.67

(1カプセル投与, Mean ± S.D., n=24)



血漿中濃度並びに AUC, Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。